



新着図書

<YA・小説>

『名探偵ポアロ
ハロウィーン・パーティ』

アガサ・クリスティー／著
山本 やよい／訳
早川書房

<YA・教訓>

『中学生のための
テストの段取り講座』

坂口 恭平／著
晶文社

<YA・社会>

『生活科学部・家政
学部』

木村 由香里／著
ぺりかん社

<一般・文学>

『プロだけが知っている
小説の書き方』

森沢 明夫／著
飛鳥新社

<一般・小説>

『汝、星のごとく』

凧良 ゆう／著
講談社

<YA・読書>

『難しい本を読むため
には』

山口 尚／著
筑摩書房

<YA・哲学>

『なりたい自分との
出会い方』

岡本 啓史／著
岩波書店

<一般・経済>

『東大生が日本を100
人の島に例えたら面白
いほど経済がわかつ
た!』

ムギタロー／著
井上 智洋、望月 慎／監修
サンクチュアリ出版

<一般・小説>

『#真相をお話します』

結城 真一郎／著
新潮社

<一般・小説>

『サバカン SABAKAN』

金沢 知樹／著
文藝春秋

図書館
カレンダー

この印が休みの日です

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

「図書館まつり」へ行こう!

10月29日(土)・30日(日)に、『図書館まつり～図書館へ行こう'22～』が予定されています。

催し物などの詳しい内容は、図書館まつりのチラシをご覧ください。



閲覧室・AV視聴コーナーの利用について

図書館まつりのため、次の期間は利用できません。

〔閲覧室〕

10月28日(金)午後から10月30日(日)まで

〔AV視聴コーナー〕

10月7日(金)から10月30日(日)まで

(臨時の休憩コーナーがあります)



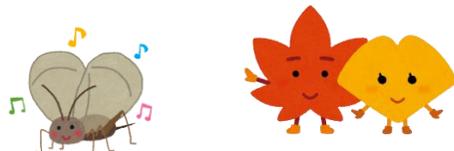
ほん
い
本を入れる
バッグを
もってきてね!

今月の特集コーナー

<児童書テーマ> 「2022 えほん 50」

『火星は…』 (スザンヌ スレド／文 千葉 茂樹／訳
三河内 岳／監修 あすなる書房)

地球のとなり、太陽から4番目の惑星“火星”について知っていますか？氷や風によって変化する姿。かつての川の流れや、隕石などが衝突した跡。そして現在行われている火星探査についてを、ギュッと凝縮した絵本です。



<一般書テーマ> 「いい湯だな♪」

『万事オーライ』 (植松 三十里／著 PHP研究所)

株で大損した熊八は田舎で小さな宿を始めましたが、客が少なく苦労していました。そこへ転機が。それは恩人の「旅人をねんごろにせよ。」という言葉と、女性や子供にも旅行を楽しんでほしいという熊八の優しさから始まりました。別府温泉を、日本一にした男の物語です。

はっさくさんの本棚



<このコーナーの主>
ミックンのおじいちゃん
はっさくさん

今月は、わしの推し活“長崎県出身の作家の作品を読む”なかで見つけた本を2冊、みんなに紹介するよ。



まずは、以前も紹介した五島列島生まれの馳月基矢さんの『拙者、妹がおりまして ⑥』じゃ。ついに第6弾が出たぞ。今回も恋する若者たちの真っ直ぐな姿に、胸が熱くなったよ。しかし現代と違って、好きな人と結ばれたいと願っても、身分の違いなどで自分の思い通りにならない時代じゃ。それを思うと、なんだか苦しいのう。みんな幸せになってほしいと思いつつ、続きを楽しみにしておるよ。



次は、長崎県生まれの今村昌弘さんの近著を紹介するよ。国内の主要なミステリー賞を受賞した『屍人荘の殺人』シリーズの第3弾『兇人邸の殺人』じゃ。今回の舞台は廃墟テーマパーク内に建つ“兇人邸”。主人からこの邸宅に呼び出された者が、次々と姿を消した。さっそく調査へ向かった比留子たちを、殺人鬼が待ち構えていた。脱出不可能な中で“兇人邸”に隠された謎に迫る比留子たち。手に汗握る展開じゃ！



読書の秋。みんなは、どんな本を読むのかな？わしに教えてね！

「はっさくさんの本棚」で紹介された本は、長与町図書館で借りることができます。

- ・『拙者、妹がおりまして⑥』 馳月 基矢／著 双葉社
- ・『兇人邸の殺人』 今村 昌弘／著 東京創元社